

第 63 巻の広告掲載会社名および商品名

| | | | |
|-------------|--------|---------------|----------------|
| アステラス製薬 (株) | | 中外製薬 (株) | アクテムラ |
| 第一三共 (株) | ネキシウム | (株) ジェイ・エム・エス | シリンジポンプ SP-120 |
| 興和創薬 (株) | グラナテック | 大塚製薬工場 (株) | ビーフリード |
| 田辺三菱製薬 (株) | カナグル | 武田薬品工業 (株) | |
| (株) ツムラ | | (株) ヤクルト本社 | カンプト 他 |

(ABC 順)

編集委員会

編集委員長：杉 山 篤

編集委員：石 井 良 和

島 田 英 昭

津 熊 久 幸

伊 豫 田 明 三 上 哲 夫

周 郷 延 雄 高 橋 寛

瓜 田 純 久 (ABC 順)

編集後記

会員の皆様と事務局のお蔭で今回も無事に Toho Journal of Medicine Vol. 2 No. 2 (June 2016) および東邦医学会雑誌第 63 巻第 2 号 (2016 年 6 月号) をお届けすることができました。収載された論文は、英文原著 5 編、邦文原著 2 編、資料 1 編、連載 (巻頭言 1 編、論評 1 編、教室紹介 1 編、学会参加記 2 編) であり、英文の原著が邦文の数を遥かに上回っています。いずれの論文も質が高く、本学から世界に発信するにふさわしい内容です。このように Toho Journal of Medicine および東邦医学会雑誌が、本学から情報を世界に発信するツールの 1 つとして利用されていることを嬉しく思います。資料として掲載された論文は、497 名に及ぶ外科手術後の患者に対して身体的苦痛に対するアンケート調査結果を纏めたものです。著者らは、低侵襲手術を導入しても、多くの患者が未だ身体的苦痛を訴えていることを明らかにしました。今回の浮き彫りにされた問題点を解決すれば、患者に寄り添った医療の提供に繋がることが期待されます。

今、私は国際会議でベルリンにきています。英語で文章を書くことには慣れてきましたが、未だ英語での議論が満足にできません。しかし、私の下手な英語でも自分の考えを述べると、会議の参加者は発言に耳を傾けてくれます。若い先生には英文の論文作成とともに国際学会でも積極的

に発表して欲しいと思います。国際学会での口演発表はストレスですが、国内で得られる以上のアドバイスやコメントを貰うことができます。また、発表終了時の解放感と大きな満足感は格別です。国際学会で発表する時点で論文投稿が終了しているのが理想ですが、私自身、それができていません。今後、若い東邦大学医学会会員の皆様が、先輩の指導を受け、国際的に大いに活躍されることを祈念しています。

(石井良和)

東邦医学会雑誌 第 63 巻 第 2 号

平成 28 年 6 月 1 日発行

編集兼 杉 山 篤
発行人〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号
東邦大学医学メディアセンター内

東 邦 大 学 医 学 会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎